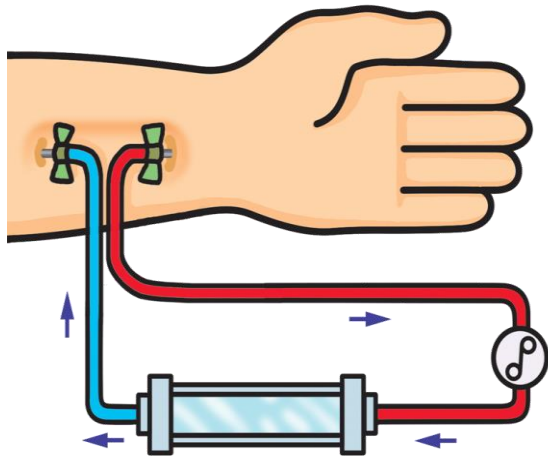


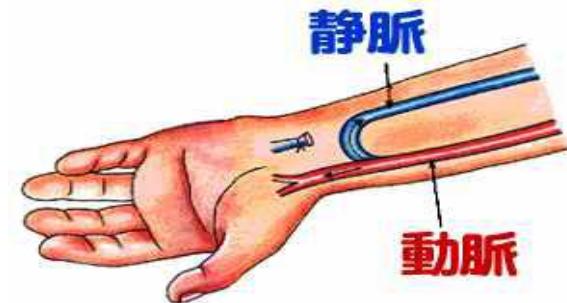
シャント手術を 受けられる方へ



医療法人紀陽会 田仲北野田病院
バスキュラーアクセスセンター

I. シャントとは

- ・腎機能が低下すると、余分な水分や老廃物が体に蓄積するようになります。それらを取り除くための血液透析治療は、1分間に150～300mLの血液を循環させる必要がありますが、もともと腕にある静脈には透析を行えるだけの十分な血流量がありません。
- ・十分な血流量を確保するために、一般的に「シャント」の手術が必要になります。シャントとは動脈と静脈を縫い合わせてつなぐことをいいます。これにより、静脈に十分な量の血液が流れるようになり、その静脈に針を刺して血液透析が行われます。シャントは血液透析をするために、なくてはならない大切なものです。



Ⅱ.日帰りシャント手術について

- ※ インスリン注射を行っている方、降圧剤・抗血小板薬などの服用をされている方は、事前にかかりつけの先生にご相談ください。
- ※ 飲食は手術予定時刻の4時間前から、できるだけ控えてください。

手術当日のながれ

- ① エコー検査で血管の状態を調べます。場合によりレントゲン撮影を行うこともあります。この検査結果に基づいて皮膚に血管の位置を示す目印をつけます。
(術前マーキングといいます)
- ② 4階の手術待機室へご案内します。
手術待機室にて手術衣に着替えていただきます。
- ③ 医師の診察と手術の説明があります。
- ④ 手術を希望される場合は同意書に記入をお願いします。
- ⑤ 手術室スタッフが患者さまの状態を確認します。
(既往症、アレルギーの有無など)

⑥ 手術します

- ・手術は通常は局所麻酔で行います。
- ・所要時間は1時間程度です。
(術式により異なります)



⑦ 手術終了後、待機室で30分間は安静にさせていただきます。この間に傷の状態、出血の有無、血圧、血液の流れている音(シャント音といいます)の確認を行います。

- ・この段階では腕に余計な力が加わるような動きはさけてください。場合により、肘を曲げないように添え木で固定を行うことがあります。
- ・30分経過後、医師の許可が出れば待機室で軽いお食事や飲み物を摂っていただいて構いません。

いようにした状態でのシャワー浴は可能です)

- ⑨ 30分経過後、問題がない場合はお帰りいただけますが、出血やシャントの状態によっては再手術となることがあります。
- ⑩ 会計窓口にて診療情報提供書、手術記録等をお渡ししますので、紹介元の医療機関に提出してください。(抗菌薬などのお薬が処方されることもあります)
- お帰りの際は、患者様ご自身が運転することは避けてください、
- 麻酔の効果がなくなると、痛みが出現することがあります。痛み止めの処方を希望される方はお申し出ください。

その後のながれ

- ・ 術後10日～2週間で抜糸を行います。通常、抜糸は紹介元の医療機関で行っていただきますが、当院での抜糸を希望される場合は予約が必要ですので、スタッフに申し出てください。
- ・ 抜糸までの間、手術の傷が濡れたり、汚れたりしないように注意しましょう。傷の消毒は不要ですが、ガーゼが汚れた場合は交換してください。
- ・ 抜糸がおわるまで入浴は避けてください。(傷が濡れな

Ⅲ.シャントの自己管理

- ① シャント音を聴診器で聴く、手で触れてみてスリル(血液の流れる振動)を確認する、腕をよく観察するなど、日頃から自己管理を行い、異常の早期発見に努めましょう。

シャント音

- ・ 音の大きさに変化はないか
 - ・ 音が途切れないか
 - ・ 高い音がしないか
- (通常はゴー、ザー等の低音です。ヒュー、ピー等の高い音が聞こえたりしませんか?)

手で触れる

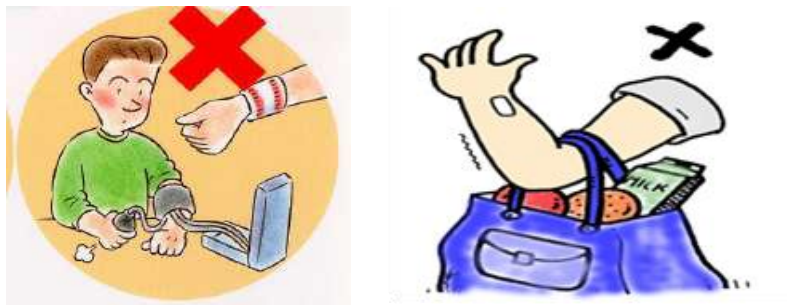
- ・ 血管の硬さに変化はないか
- ・ いつもより熱を持った感じがないか
- ・ スリルに変化はあるか

目で見える

- ・ 腫れや発赤がないか
- ・ 膿や液体が出てこないか

いつもと違う点に気づいたときは、かかりつけの先生や、透析室スタッフにご相談ください。

- ② シヤントの血管を圧迫しないようにしましょう。
(シヤント肢での血圧測定や、手枕、腕に鞆等をかけるなど)



- ③ 透析の針を刺す位置を、できるだけ毎回変えてもらうようにしましょう。
- ④ 水分制限を守り、急激・多量の除水が必要になる状況避けましょう。(除水：透析で体の水分を取り除くこと)
- ⑤ 透析後の止血ベルトは、できるだけ早めにはずしましょう。
- ⑦ シヤントを作った腕の運動を行いましょ。血行が良くなることで、血管の発達(血管が太くなり、血流量が増えること)が促されます。

きょうさく

狭窄(血管が細くなること)がおきてくると・・・

- ・シヤント音が途切れたり、音が小さくなることがあります。
- ・シヤント音に高い音が混じるようにことがあります。
- ・血管の”ハリ”がなくなり、フニャフニャした状態になることがあります

閉塞してしまうと・・・

- ・聴診器でシヤント音が聴き取れなくなります。
- ・シヤント部の血管に痛みがでたり、発赤などの変化がおきることがあります。
- ・再びシヤントの手術が必要になることが多いですが、早く発見できれば、手術せずに処置のみで血流が回復することもありますので、シヤントの異常に気付かれたときは、すぐにかかりつけの先生にご相談ください。

感染をおこしてしまうと・・・

- ・感染をおこした部分が、赤く腫れ、熱をもつことがあります。
- ・感染を起こした部分に痛みがでることがあります。
- ・針を刺したところなどから膿が出る場合があります。

～シャント感染を防ぐために～

- ① シャントの腕に傷をつくらないようにしましょう。
- ② シャントの腕を清潔に保つようにしましょう。
- ③ 透析後、針を抜いたところを保護しているガーゼが濡れたり、汚れたり、血液がにじんできたときは、針を刺したところを消毒して、新しいガーゼに交換しましょう。
- ④ ガーゼは血が止まっていることを確かめてから、寝る前、もしくは翌朝に外してください。
- ⑤ 透析治療を受けた当日は、**入浴禁止**です。
(シャワーも禁止です)



IV.シャントからの出血

透析治療を続けていくなかで比較的よくある症状です。

・外出血

針を抜いた後、止血が不十分だと再出血をおこすことがあります。このような場合、一度消毒したうえで清潔なガーゼに交換し、圧迫して止血を行います。

出血時は透析室スタッフに伝え、処置を依頼してください。

・内出血

透析の針を刺した時に血管外への漏れがあったり、針を抜いた後の止血が不十分であると、皮膚が赤黒くなり、痛みや腫れを伴うことがあります。

当日は内出血部分を冷やしますが、シャント手術の血管をつないだ傷のあたりは、冷やさないようにしてください。

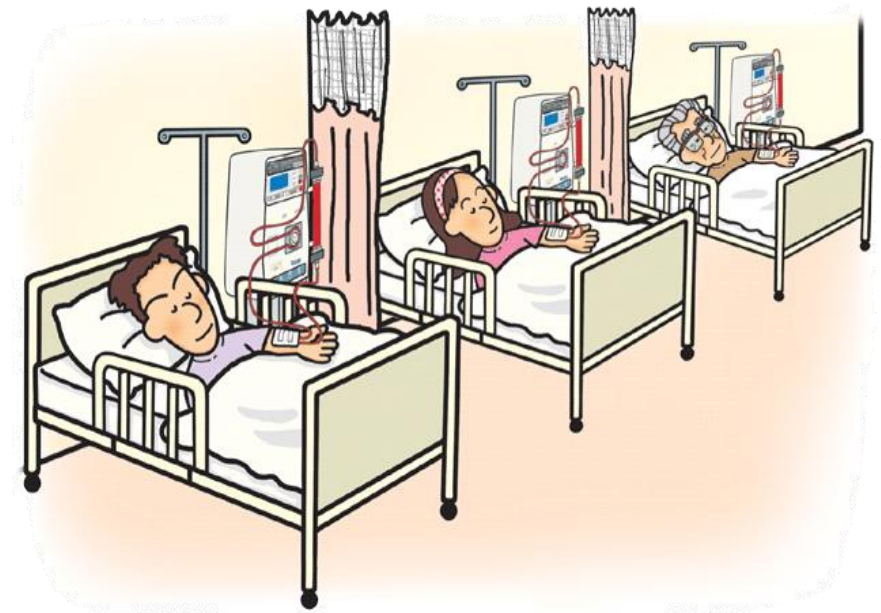
翌日からは温めることで、内出血の吸収を促進し、早期の治癒が期待できます。湿布を貼ることも有効です。

V. スチール症候群について

シャントを作った側の手指が冷たく感じたり、しびれたり、青紫色になるなどの症状が現れる方がおられます。症状が強い時には痛みをともなうこともあります。

これはスチール症候群とよばれるもので、シャントに血液がよく流れるようになることで、そのぶん、手指に流れる血液が減少してしまい起きる症状です。

シャントの腕に症状が現れたとき、変化があったときには、かかりつけの先生や、透析室スタッフにご相談ください。



____年 ____月 ____日に

シャント手術を致しました。

- ・手術後の様子をお伺いするため後日、ご連絡させていただきます。
ただくことがあります。
- ・シャントについて、気になる点がありましたらいつでもお気軽にご相談ください。

医療法人紀陽会 田仲北野田病院

バスキュラーアクセスセンター

平日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

〒599-8123

大阪府堺市東区北野田 707

Tel. (072) 235-1055 (代)